

野付半島より見えた蜃気楼

星 弘之 (北海道・東北蜃気楼研究会)

1.はじめに

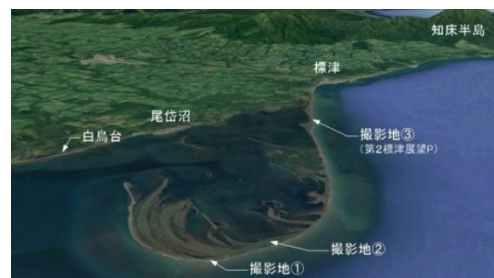
今年2月、知床半島の付け根に位置する、野付半島を訪れた。ここは、約40年前の早朝、白鳥の撮影をしているとき、偶然にも太陽の蜃気楼に出会った場所、それはいつも見る丸い太陽では無く、四角い太陽であった。2月28日早朝、常宿を出発、国後島が間近に見られる野付半島に向かった。

第2標津展望Pで根室海峡や野付湾など周囲を見渡すと、40年前と同じような雰囲気、一言でいうと「もやっと」しているような感じだった。これは「出る」と確信、南端に近い野付灯台に向かった。確信した通り、変形太陽が昇り周囲は蜃気楼だらけと表現できるぐらいの状況だった。

野付半島での太陽の蜃気楼から斜里以久科から見た大規模な蜃気楼、そして斜里前浜から見た夜の蜃気楼までの、1日の様子を画像と動画で紹介する。



北海道全図



野付半島

2.過去に野付半島周辺で見た蜃気楼



尾岱沼白鳥台の四角い太陽



野付半島→尾岱沼市街

今では、尾岱沼は四角い太陽を撮影出来る場所として有名で、冬期間全国各地から多くのカメラマンを集めている、冬期間3ヶ月も連泊して狙っているカメラマンもいる。

太陽の蜃気楼だけでなく、運が良ければ、野付半島から見た尾岱沼市街の蜃気楼、また逆の蜃気楼、さらに、約16km離れた、近くて遠い島、国後島の蜃気楼も見ることが出来る。

3.変形太陽とエゾシカ



【2017/2/28-5:54】

撮影地①野付灯台付近でエゾシカと太陽が直線に並ぶ場所を探す、しかし動ける範囲はごく僅か。何とか変形太陽とエゾシカの組み合わせを撮影出来た。



発生前の野付湾【2017/2/28-6:12】

撮影地①から見る尾岱沼の風景は、この時点刻では蜃気楼化はしていなかった。手前の野付湾は一面霧氷らしきものが低く広がっていた。

4.尾岱沼市街方面の蜃気楼



【2017/2/28-6:35】

撮影地②より見た、尾岱沼市街の蜃気楼、手前の白いのは結氷した野付湾。



【2017/2/28-7:18】

撮影地③より見た、尾岱沼市街地後方の蜃気楼、白いのは牧草地の雪原が蜃気楼化したともと思われる。

5.標津方面の蜃気楼



【2017/2/28-7:13】

宿へ戻る途中、撮影地③より見た風景、海面付近は強い下位蜃気楼で、標津市街後方の牧草地が蜃気楼化していた。このような風景は今まで見たことが無かった。



【2017/2/28-7:01】

撮影地③より見た標津市街は、強い下位蜃気楼になっていて、後方の牧草地が、蜃気楼化、雪原が上方に伸びていた。

6.同日午後、斜里周辺の蜃気楼



【2017/2/28-12:25】

斜里以久科より網走方面を見ると、北浜あたりから能取岬先端まで、大規模な蜃気楼が発生していて見応えあった。



【2017/2/28-18:48】

夜に斜里前浜より網走方面にカメラを向けインターバル撮影、微小な伸びだったが夜の蜃気楼を撮影することに成功した。

7.おわりに

朝食後、実景を撮影に再び野付半島に、日の出から3時間経過していたが野付湾ではまだ継続していた。その後、知床半島周辺で広範囲に出ていると予想、急いで斜里以久科に戻った。

以久科の高台に立つと知床岬方面や能取岬方面が広範囲に大きく変化する蜃気楼を見ることが出来た。さらにその日の夜、斜里前浜から網走方面にカラフルな夜の蜃気楼を見ることが出来た。

早朝から夜間まで、約70km離れた、野付半島と斜里町の2か所で、蜃気楼を観測・撮影できた。時々刻々と変化する蜃気楼、終に1日が終わってしまった。このような日は二度と無いであろう。